

人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

60号

大日化成株式会社

〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13

TEL : 06-6909-6755 FAX : 06-6909-6702

URL : <https://dainichikasei.co.jp>

通気緩衝工法

水分を逃がし防水層の
割れ・ふくれを防ぎます

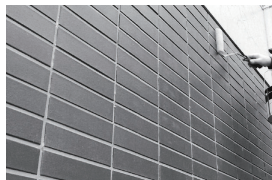


BIGSUN
RX 工法

スカイコートW

＜タイル張り面の透明外壁防水材＞

スカイコートWは、透明度の高い水系ウレタン樹脂を主成分とした1液型外壁用透明防水材です。透明な塗膜を為、タイル仕上の意匠性をそのままに雨水の侵入を防ぐことができます。



透明な塗膜でタイル仕上の
意匠性はそのまま!!

主な特長

1. オール水系
2. 超高性能被膜
3. 優れた施工性
4. 防カビ・防藻機能



詳しくは
YouTube
大日化成
チャンネルで



大日化成チャンネル

こんなところで活躍しています

スーパー屋上 (VUS500)



ポリマーセメント系塗膜防水が JASS8 に掲載されました

今年、2022年3月に日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS8 防水工事」改訂に伴い、この度ビッグサン防水工法も含まれるポリマーセメント系塗膜防水が JASS8 に掲載されました。これによって建築学会にも一人前の防水として認められ、これまで JASS8 に掲載されていたウレタン系塗膜防水やアスファルト防水等の防水仕様と肩を並べられる防水仕様となりました。

「建築工事標準仕様書」とは建築の質的向上と合理化を図るための適切な施工基準を作ることを目的として、一般社団法人日本建築学会が作成した仕様書です。

さて、これまでポリマーセメント系塗膜防水は「施工指針(案)」の仕様という位置づけでしたが、標準仕様書とどのように違うのでしょうか。少し説明させて頂きますと、施工指針(案)

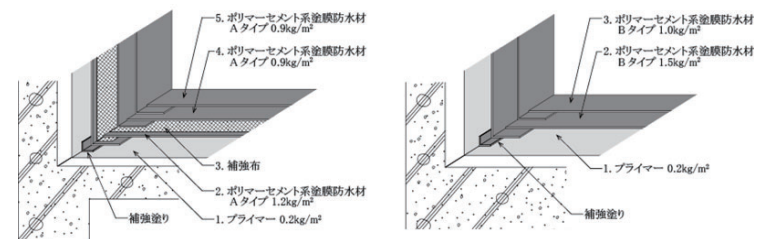
は、「新材料・新工法等の新技术を、正しく普及させることを目的としたガイドライン」というものでした。これに対して、標準仕様書とは「建築物の品質水準の均一化、使用材料・工法の標準化を目的とした契約図書」という意味合いです。要するに、建築学会の推奨工法ということになり、例えば仕様書に基づいて適用部位に対し、仕様書に基づいた施工を行った際に不具合等が発生した場合には、建築学会としても責任が掛かってきます。そのぐらい重みに差があります。

尚、今回 JASS8 に掲載された仕様は、これまで網羅されていた全ての仕様ではなく、次の2仕様に絞られています。まず旧施工指針(案)の PAV 仕様と相当する地上用 A タイプの材料に補強布を積層し、硬化後の標準厚み1.6mmとする C-PU 仕様。同じく旧施工指針(案)の PAV 仕様と相当する、地下・水槽用 B タイプの材料を塗り重ねた硬

化後の標準厚み1.2mmとする C-PU 仕様の2つとなり、弊社の適合工法としては、C-PU 仕様と地上用の PAV 工法と PAV 工法、C-PU 仕様と地下・水槽用の GRG 工法及び GR 工法となります。

分類は、どちらの仕様も不定形材塗布・吹付け防水工事のセメント系防水工事に分類されています。

その他の工法については、今回の改訂で必ず盛り込まれるように、工業会で引き続き使用実態調査や実用性能の検証活動を行い、それを建築学会に蓄積し更なる信頼性の証明を行っていく予定になっております。尚、JASS8 掲載は最終のゴールではありません。仕様の追加ももちろんですが、今後更に適用部位を増やしていくという課題もあり、それには製品の更なる改良も必要になるかもしれません。今後ともご期待下さいませ。よう、宜しくお願い致します。



JASS8 C-PF 仕様

JASS8 C-PU 仕様

JASS8 C-PF仕様とC-PU仕様の概念図



さて、今回の現場で採用に至った経緯としては、ある設計事務所から事務所にかつてきた1本の電話が始まりでした。まず問い合わせを頂いた設計事務所に材料説明に伺い、そこから大阪府の担当者を紹介して頂き、商品の特長や、施工実績など、丁寧に説明を行いました。現場のすぐ隣に高校があり、臭いの問題が無いかという点が特に心配な様子だったため、実際の材料のサンプルを持参して臭いを嗅いでもらい、問題ないこ

とを確認してもらえたことが採用に繋がる大きな要因だったと思います。

実際に施工中の現場にも何回か訪問させて頂きました。職人さんが一番大変だとおっしゃっていたのが、タイル目地の施工です。今回の現場では、タイル目地の深さが3mmから、深い箇所では5mm程度あったため、ローラーで一度材料を施工した後にはハケで目地部分を再度塗るというかなり手間のかかる作業だったようです。しかし、防水専門の職人さんということもあり、その辺の事はきちんと納めてくださり、最終的には塗膜の厚さもしっかりと確保されていて、キレイに仕上がっていました。

完了しました。

完了検査も無事合格となり、今はホッとしています。このような歴史ある建物に、スカイコートWを採用して頂き、今後のPR活動にも一役買ってもらえる現場になりました。

下地調整材シリーズ 他工法でも活用いただけます

スカイレジンWE

スカイレジン WE は水系エポキシ樹脂をベースとするローラー施工タイプのエポキシポリマーセメント系下地調整材

EPC-T

2材型・水系エポキシ樹脂ベースの薄付けタイプ素地調整材 下団1種合格品
エポフィラー
水系エポキシモルタルでありながら画期的な2材で使いやすい

プライマー-E

各種溶剤系及び無溶剤系、水系材料の下塗りプライマーとして使用が可能

BIGSUN ラピタルエース

＜速硬型軽量プレミックスモルタル＞

コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル



速硬
軽量
薄塗りから
厚塗りまで可能
取扱簡単!!



日本の緑化事情 / 屋上緑化から壁面緑化へ

屋上緑化とは違い壁面緑化はどこからでも見ることから、インパクトも大きく屋上緑化の普及とともにニーズが増えてきています。しかし屋上とは違い、上に置くという事は出来ませんので幾つかの方法で実現されています。種類として大きく3タイプがあります。

◆登坂タイプ
ツタのように地面から壁面を登坂していく植物で構成するもの。壁面への設置を工夫する必要があります。

◆下垂タイプ
屋上などに植栽基盤を設け上から下へ向け植物を下垂させるもの。登坂する植物と似ていますが、下垂にむかない植物があるので選定に注意が必要です。

◆基盤造成型
壁面に何らかの方法で、プランターや植栽基盤を取り付けるタイプ。登坂や下垂とは違い、ユニットで製作するため、植物選定の幅が広がり、景観的にも優れるものが可能になります。

屋上には限りが有りますし、全ての屋上が緑化に適しているわけではありませんので、壁面緑化へのニーズが高まる原因となっています。

基本的に垂直に植物を繁茂させることが必要ですので、実現させるための工夫に費用が掛かることも否めません。

使用する植物の生育特性やメンテナンスのことも熟考して、設置を検討する必要があります。そのため、屋上に駄目だから壁面にと、か、見た目が良いから壁面という安易な導入は避けるべきものです。

大日化成の壁面緑化は、吸着させるためのパネルやネットなど、費用や設置の高さに応じた幾つかの工法をご用意しております。

※壁面緑化は首都圏のみでのお取り扱いとなります。お問い合わせは東京支店までお願いします。



大日製品現場レポート

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。



今回は、商業ビル新築工事現場でビッグサンを採用して頂きます。

経緯については、普段からビッグサンを得意にしている施工業者様から仕様に相応しい施工業者様に入社して頂いて、ビッグサンについて相談を頂いた所から始まります。設計図面には他メーカーの工法仕様が入っており、ビッグサンの同等仕様で変更したいと連絡を頂きました。

施工業者様から送って頂いた設計図面、仕様明細を確認し、ビッグサンで対応可能を確認し、その中で施工箇所に入っている箇所について、詳しい使用条件等を確認し、仕様変更の提案を行いました。例えば、ケイ酸質系塗布防水材の仕様が入っていたオイルボンブ室の防水仕様は防水性能も必要と考え、弊社防水工法、消火水槽に関しては、水質系塗布防水材より防水性の高いポリマーセメント系塗膜防水材のビッグサンGR工法に変更しました。

今回の様に、施工業者様と協力し原設計から変更で自社製品のビッグサンを施工してもらうには、仕様の変更の資料作成等、大変な事もあります。実際に苦勞した資料等で納得してもらい、変更が認められれば、材料が出荷に当たっては、とても嬉しい気持ちになりました。

その他、同等、変更仕様の比較資料を作成するうえで、大日化成社内でも、上長、技術部員とも相談、打ち合わせをする事で、より良い仕様提案が出来たのではないかと考えます。

今後も大日化成社内一丸と、よりよい製品、仕様の提案等が出来ればと考えております。

それには、施工業者様をはじめ色々な方の協力が必要になる場合があると思いますが、今後も大日製品を宜しくお願い致します。

DAINICHI CHEMICAL CO., LTD.

●本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702

●東京支店
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太楼ビル 5F
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。



次号も
お楽しみに

URL : <https://dainichikasei.jp>

Vol.57

映画で学ぶ 環境問題



ミッション・ブルー

原題 : MISSION BLUE

監督 : ロバート・ニクソン
フィッシャー・ステーブンス

出演者 : シルヴィア・アール
ジェームス・キャメロン
マイク・ディグリー

制作国 : アメリカ合衆国

上映 : 94分

公開 : 2014年

米ソ冷戦の象徴の一つである宇宙開発。1969年に月へ到達した人類ですが、火星有人探査が計画される中、宇宙ではなく地球上に未踏の地があります。それは海洋です。

日本一の高層ビル、あべのハルカスの高さは300m。世界一の高層ビルは800mを超えています。

初で水深375m迄潜ったのが米海洋学者シルビア・アールです。このドキュメンタリー映画は海洋破壊の状況を訴えるものではありませんが、シルビア・アールの半生も描かれており、ドラマを見るような楽なスタイルで鑑賞できる作品になっています。

冒頭、「酸素の大部分は海で作られている。二酸化炭素の大半も海が吸収してくれている。人類は海がなければ生きてはいけません。もしこの海がなんらかの影響で干上がってしまったら人類は絶滅しかねない。見た目に海があっても海を

海を汚し、地球の循環システムに毒を注ぎ、結果として多くの海洋生物を殺す」と語っています。

海洋油田の事故による原油の大量流出や、核開発競争での水中爆破実験等、他、一時期はゴミの海洋投棄が普通に行われていたことなども原因とされています。海が汚れても自然に浄化されると思われていた時期もありました。

現在、世界のサンゴ礁の半分はまだ健康な状態です。すべてを50年前の状態に戻すことは不可能でしょう。しかし人類一人一人が何かが行動を起こすことが重要だと考えさせられました。

本作品はNetflixで鑑賞可能ですが、ドキュメンタリー映画としては珍しく日本語吹き替え版になっていくので、字幕が苦手な方でもゆくり鑑賞できると思いますので、機会があれば是非ご覧になってほしいと思います。

人類が生き長らえる要素には海と密接な関係がある事を忘れてはいけません。海が汚染されていても海洋生物が死滅しても、見た目には海が存在しているので気付かないだけなのだ。」と伝えています。

シルビア・アールは幼少の頃から海に潜り続け、海洋学者になりました。その後も世界各国の海に潜り海洋調査を続けました。オーストラリアのリーフに潜るシーンがあります。何十年か前に見た美しいサンゴ礁が死滅し、荒れ果てていました。サンゴ礁が死滅すると海洋生物がいなくなります。「潜っている間に魚を一匹も見なかった。この50年で海は大きく変容した。子供の頃に魅せられた海は変わり果ててしまった。」と語っています。

の命を奪っている現在の状況がこのまま続いた場合には50年後にはもう取り返しがつきません。ところまで行くことは確実です。

しかしシルビアは、「今ならまだ間に合う。希望を捨てず、今出来ることを地道にやって行こう。」と行動を起こします。

2009年にはNGOミッションブルーを創設し、世界の海に海洋保護区(HOPE SPOT)を指定し、2030年までに海洋の30%が保護されることを目標としています。

作品中でも海洋保護を行った結果、少しずつ環境が戻って来ている事例も紹介されています。